

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-98	小学校	社会	社会	6 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	社会 608	小学社会 6 年		

1. 編修の基本方針

『小学社会』は、一貫して掲げてきた「人間尊重」の理念を基本に、主権者として社会と自分自身との関わりを主体的に考え、取り組んでいこうとする子どもたちの姿勢をたいせつにし、支援してきました。その基本理念を本教科書でも引き継ぎ、さらに発展させました。

本教科書は、教育基本法第2条の教育の目標を達成し、上記の基本理念を実現するために、以下の三つを基本方針として編修にあたりました。

『小学社会』

子どもが学びの主役となる教科書

基本方針 ①

問題解決に向け、 本気で学ぶ

主権者として自らの生き方を
問い続けながら、問題を解決
できる子どもを育てます。



基本方針 ②

主体的・対話的で 深い学びを実現する

みんなとともに考える子どもを育てます。



基本方針 ③

SDGsを自分ごと として考える

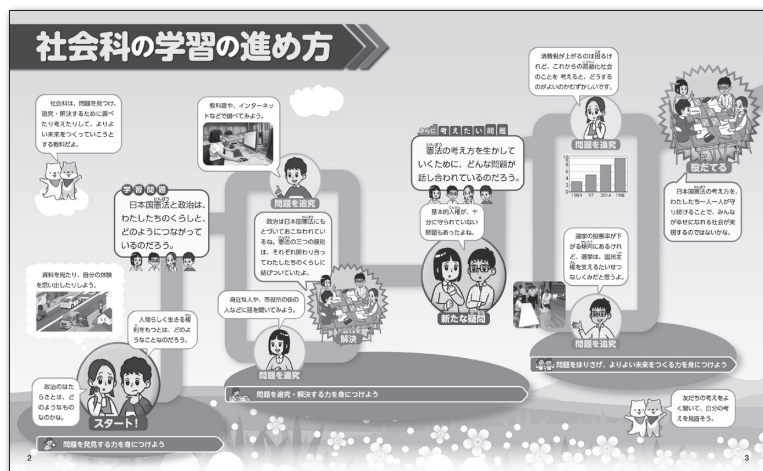
誰一人取り残さない持続可能
な社会の実現に向け、自ら考え、
行動ができる子どもを育てます。



基本方針① 子どもたちが社会について本気になって学ぶことができる教科書

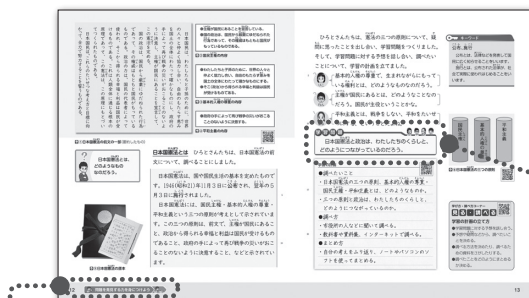
子どもたちが学びの主役となる「問題解決的な学習」をおこなうことができます。

1 問題解決的な学習の過程をよりわかりやすく示しました。

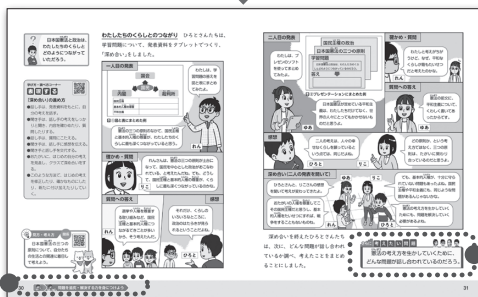


▲ 巻頭ページ (p.2~p.3) 「社会科の学習の進め方」

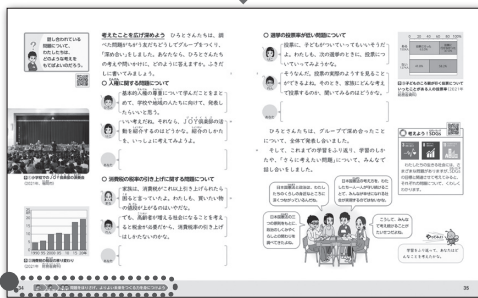
● 問題解決的な学習の過程による単元構成の例 小単元「日本国憲法と政治のしくみ」



▲ p.12~p.13



▲ p.30~p.31



▲ p.34~p.35

6年 p.10~p.13 小単元導入

問題を発見する力を身につけよう

主に、身のまわりのことから問題を見出す力を身につける段階です。

学習問題

日本国憲法と政治は、わたしたちのくらしと、
どのようにつながっているのだろう。

6年 p.14~p.31

問題を追究・解決する力を身につけよう

主に、学習問題についてさまざまな方法で調べ、解決する力を身につける段階です。

さらに考えたい問題

憲法の考え方を生かしていくために、
どんな問題が話し合われているのだろう。

6年 P.32~p.35 小単元末

問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう

主に、さらに考えたい問題について掘り下げて追究し、よりよい未来をつくるために何ができるか考え、社会にいかす力を身につける段階です。

左ページ脚注にインデックスを設け、どのような力を身につける段階の学習であるかをひと目でわかるようにしました。

基本方針② 主体的・対話的で深い学びが誰にでもできる教科書

みんなとともに話し合い、考えを深め合う社会科の学習をおこなうことができます。

1 どの子どもも、見通しをもって主体的に学ぶことができるようにしました。

●「学習問題」について予想し、「学習の計画」を立てる場面の設定

一人一人の「わたし(たち)の問題」を出し合うなかで、みんなで追究したい「学習問題」をつくったあとは、「学習問題」について予想し、解決への見通しとなる「学習の計画」を立てるようにしています。

わたし(たち)の問題 → 疑問を出し合う → 学習問題 → 学習問題の予想 → 学習の計画

2 交流場面を随所に設定し、対話的で深い学びをおこなうことができるようにしました。

●さまざまな交流場面の設定

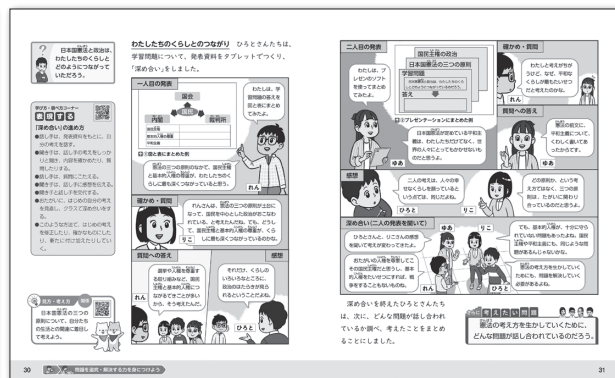
追究していくなかで、個が集団と関わりながら問題を解決する具体的な場面を効果的に設定しています。

主な交流場面

- ①疑問から学習問題をつくる場面
- ②学習問題から予想する場面
- ③学習の計画を立てる場面
- ④学習問題について自分の考えを発表し、みんなで考える場面
- ⑤まとめた作品をもとに考えを深め合うなどして表現する場面など



▲ p.82 (④の例)



▲ p.30～p.31 (⑤の例)

基本方針③ SDGsを自分ごととして考えることができる教科書

誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向かって、成長していく自分を実感することができます。

1 SDGsについて具体的に調べたり、考えたりできるようにしました。

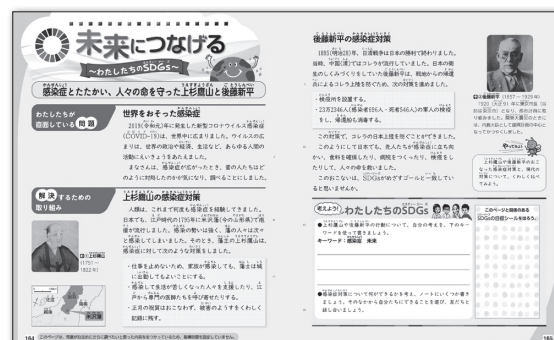
●「考えよう! SDGsコーナー」の設定



▲ p.9

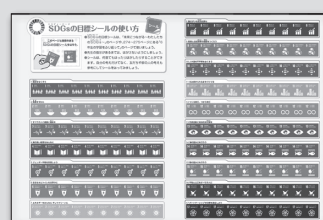
SDGsに関連した内容を取り上げています。日本や世界では、今どのような問題があるのか、解決するためにどのような取り組みがされているのかを調べたり、考えたりすることができます。

●特設ページ「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」の設定

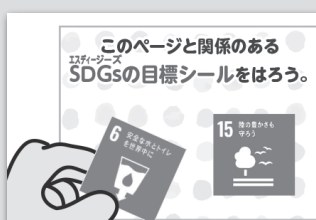


▲ p.164～p.165

単元の学習を終えて、もっとくわしく調べてみたいことや、気になったことをSDGsに関連づけて取り上げたページです。巻末に綴じ込まれているSDGsの目標シールを使った学習に取り組めます。



▲ 巻末綴じ込みページ



●巻末綴じ込み SDGs の目標シール

特設ページやp.274～p.275にある「6年生の学習をふり返って」のページでは、SDGsの目標シールを使いながら、学習したことが、SDGsとどのように関連があるかを考えを深めることができます。

2. 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標を達成するために、教科書全体を通して、以下のような配慮をしました。

構成・内容		特に意を用いた点と特色	該当箇所
巻頭ページ	オリエンテーション、社会科の学習の進め方、この教科書の使い方、もくじ	・巻頭ページでは、教材の配列や社会科の学び方、教科書の使い方などを、子どもにわかりやすく示しました。	表2～p.7
大単元	1 わが国の政治のはたらき 1 日本国憲法と政治のしくみ 2 わたしたちの願いと政治のはたらき	・国民主権の学習において、政治の主人公という視点をもたせ、自主・自律の精神を養えるようにしました。(第2号) ・基本的人権の学習では、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度の育成をはかりました。(第3号)	p.8～p.57
	2 日本のあゆみ 1 大昔のくらしとくにの統一 2 天皇を中心とした政治 3 貴族が生み出した新しい文化 4 武士による政治のはじまり 5 今に伝わる室町の文化と人々のくらし 6 戦国の世の統一 7 武士による政治の安定 8 江戸の社会と文化・学問 9 明治の新しい国づくり 10 国力の充実をめざす日本と国際社会 11 アジア・太平洋に広がる戦争 12 新しい日本へのあゆみ 日本の歴史の学習を終えて	・歴史学習への誘いの段階に工夫をこらし、子どもが、自分の今のくらしに直結するものとして歴史的事象を捉え、実感をもって学習に取り組もうとする構えをもたせようとしてしました。(第1号) ・歴史的事象を自ら調査し、学習問題をつかむために、情報入手に関するスキルを高め、幅広い知識と教養を身につけ、地域の諸問題に自らが直接向き合うという姿勢を例示するなどして、真理を求める態度を養えるようにしました。(第1号) ・我が国が古くから諸外国と盛んに交流し、お互いに影響し合いながら現代に至っていることを知り、我が国や郷土を愛する心情を育て、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てるようにしました。(第5号) ・防災や感染症といった現代人が直面している問題について、過去の人々がどう向き合い、取り組んできたかを示す事例を紹介し、歴史を学ぶ意義を実感させようとしてしました。(第5号)	p.62～p.103 p.106～p.123 p.126～p.161 p.166～p.191 p.196～p.229
	3 世界のなかの日本とわたしたち 1 日本とつながりの深い国々 2 世界がかかえる問題と日本の役割	・地球規模の環境問題を、国連の活動と関連づけて取り扱い、切実な問題として理解し、環境の保全に寄与する態度を養うとともに、我が国が国際社会において果たす役割を多角的に考えられるようにしました。(第4号)	p.232～p.271
特設ページ	未来につなげる ～わたしたちのSDGs～	・各単元の学習内容から、子どもたちの興味・関心を発展させた多様な教材や、現代的な教育課題に対応した教材を、SDGsと関連づけて取り上げ、創造性と自主性を養えるよう配慮しました。(第2号)	p.58～p.59 p.104～p.105 p.124～p.125 p.164～p.165 p.194～p.195 p.230～p.231 p.272～p.273
巻末ページ	6年生の学習をふり返って どんな力が身についたのかな 中学校へ向かって	・巻末ページでは、学年を通して学んできたことや身についた力を振り返るとともに、次学年に向けての見通しがもてるよう、子どもにわかりやすく示しました。	p.274～p.279

3. 上記以外に特に意を用いた点と特色

(1) 現代的な諸課題への対応

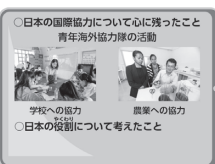
●ICTの活用

教育のICT化に伴う、デジタルならではの学びを取り入れながら、上記の基本方針を実現できる内容となっています。

①教科書デジタルコンテンツ

- 二次元コードを示している箇所には、ICTを活用して学習を効果的に進められるように、コンテンツを用意しました。二次元コードから直接アクセスすることができます。
- 大単元導入ページ、「学習の計画」、「見方・考え方コーナー」、「考えよう! SDGsコーナー」、小単元末ページには、ワークシートを用意し、主体的・対話的で深い学びができるようにサポートしています。

②ICTを活用した学習活動



● p.270①
「りこさんの発表タブレット」

- ICTを活用した学習活動を例示することで、子どもたちによる新しい学びのスタイルをサポートしています。

●道徳との関連

- ・政治や現代史の内容では、公民的資質の基礎を養うことに適しており、主として集団や社会との関わりに関する内容と深く関連づけて指導することができます。
- ・歴史の学習において取り上げている事例によって、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心情を涵養することができます。
- ・国際交流や世界の国々の学習において示された事例は、国際理解や多文化共生の基礎を養うことに適しています。

●人権・福祉教育への取り組み

- ・政治単元では、人々の願いとその実現への営みを追究していくことを通して、人権・福祉の問題が政治との関わりを通して取り上げ、現代社会におけるこれらの問題の解決に取り組む構えをもたせようとしています。歴史単元では、人々の社会生活向上へのあゆみを追究していくことを通して、代表的な歴史上の人物の働きとともに民衆のくらしや願い、思いに着目させ、人間尊重の精神や人権意識を育てていくようにしています。日本と世界の単元では、国際社会のあり方を追究することから、地球規模での共生社会の実現のたいせつさを考えさせようとしています。

●平和・国際理解教育への取り組み

- ・平和問題については、政治単元では、日本の平和への願いと憲法の平和主義について触れ、次の歴史単元の「アジア・太平洋に広がる戦争」で、当時の国際情勢をおさえつつ、日本の対外政策のあり方について考えるとともに、戦争の悲惨さがわかるように配慮しています。「3世界のなかの日本とわたしたち」では、現在の平和の問題とそれに取り組む日本と日本人の姿を、具体的事例で示し、平和を願う地球市民としてこれからのあり方を考えることができるようにしています。

●防災・安全教育への取り組み

- ・「1わが国の政治はたらき」では、災害復旧の取り組みとして、平成26年と平成30年の豪雨災害で被災した広島市を選択事例として取り上げ、主教材とほぼ同等の扱いの充実した教材として掲載しています。

●伝統・文化教育への取り組み

- ・「2日本のあゆみ」では、茶の湯や生け花などの今に残る室町文化の体験的な学習や、江戸時代の町人文化を調べていくなかで、それらの文化が外国へも影響を与えたことや、今も親しまれていることなどを捉える学習から、子どもが日本の伝統や文化を、実感として捉えることができるように配慮しています。
- ・「3世界のなかの日本とわたしたち」では、世界の国々とスポーツや文化を通じた国際交流をするために、わたしたちが何に取り組めばよいかを示唆しています。

●環境教育への取り組み

- ・「1わが国の政治のはたらき」では、公害を乗り越えた水俣市を選択事例として取り上げ、自然との共生と地域の発展を両立させようとする取り組みを紹介し、持続可能な社会を構築することの重要性を考えさせようとしています。
- ・「3世界のなかの日本とわたしたち」では、地球規模の環境問題を取り上げ、自分たちにとって切実な問題として考えさせようとしています。

●健康・消費者教育への取り組み

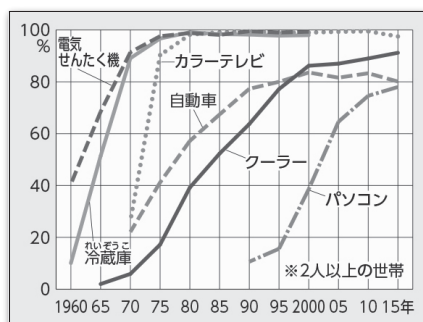
- ・「2日本のあゆみ」では、各時代の食事のようすなどを取り上げており、伝統的な食文化や、食に関する知識や興味・関心を深められるよう、食の視点に関しても配慮しています。

(2) 共生社会の実現に向けた配慮

●特別支援教育への配慮

一人一人の子どもが使いやすい教科書をめざして、特別支援教育の観点に配慮しました。

カラーユニバーサルデザインに配慮した教科書



● p.221

一人一人の色覚の違いを問わず、多くの子どもに見やすいよう、グラフ・地図については、色調や色の組み合わせの区別だけではなく、斜線やドットなども使用するなど、細部まで配慮しています。グラフは、要素ごとに黒色の境界線を施し、確実に数値を読み取ることができます。

ユニバーサルデザインフォントを使用した教科書

従来の本文フォント

はるとさんたちは、
らしをくわしく調べ、



新版教科書の本文フォント

ひろとさんたちは、
らしをくわしく調べ、

本文には、誰にでも見やすく読みやすい「ユニバーサルデザインフォント（UDデジタル教科書体）」を使用しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-98	小学校	社会	社会	6 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	社会 608	小学社会 6 年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

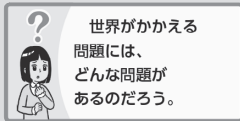
特色① どの子も本気で学べる問題解決的な学習の過程が見える教科書

本教科書は、子ども一人一人の素朴な問いをたいせつにしながら、学習問題の質的な広がりや深まりを重視しています。また、その学習問題を集団で追究・解決していくことによって、自らの考えが深まっていく過程をわかりやすく紙面上で構造的に示すことで、子どもの主体的、問題解決的な学習過程が見えるように工夫しています。この構造は、さらには、学びに向かう意欲や態度、能力などを、どの子にもつちかていくことにつながっていきます。

1 学習問題の質的な広がりや深まりがわかるように工夫しました。

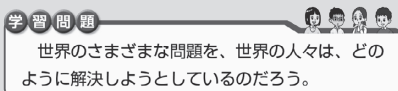
●次の三つの要素をもとに、学習が展開しています。

わたし(たち)の問題



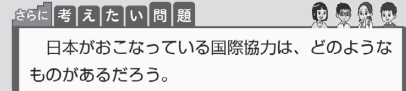
メインキャラクターの子どもが発言する、見開きページでの素朴な問いや問題です。

学習問題



一人一人の「わたし(たち)の問題」を話し合うなかで焦点化され、共有される、いわゆる学級全体で話し合いたい問題のことで。

さらに考えたい問題



学習問題を解決した後で生まれた、学級全体でさらに話し合ったり、考えたりしたい問題のことで。



▲ p.260~p.261



▲ p.266~p.267

※「さらに考えたい問題」は、学習指導要領で選択・判断が求められている単元で設定しています。

2 問題解決的な学習の過程と対応した「脚注インデックス」を設定し、社会科の学習を進めるうえで、主にどのような力をつけるページかをわかるように示しました。

問題を発見する力を身につけよう

主に、身のまわりのことから問題を見出す力を身につけるページであることを示しています。

問題を追究・解決する力を身につけよう

主に、学習問題についてさまざまな方法で調べ、解決する力を身につけるページであることを示しています。

問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう

主に、さらに考えたい問題について掘り下げて追究し、よりよい未来をつくるために何ができるか考え、社会にいかす力を身につけるページであることを示しています。

特色② 社会科で求められる資質・能力が確実に身につくように工夫された教科書

社会科で育む資質・能力が確実に身につくよう、さまざまな手だてを教科書紙面に明示し、提案できるようにしました。

1 学習問題を追究・解決する手だてとなる「見方・考え方コーナー」を設定しました。

● ものごとを見たり、考えたりするときの三つの目のつけどころについて、アドバイスしています。

見方・考え方 **空間**

広い世界のいろいろな問題について、その国や地域特有の問題に着目して考えよう。

▲ p.261

わたしたちの住む日本や、世界の国や地域に目を向けてものごとを見たり、考えたりしてみよう。

見方・考え方 **時間**

江戸時代の文化について、室町文化の特色と比べてみよう。

▲ p.151

昔から未来へとたえず移り変わる時間の流れに目を付けて、ものごとを見たり、考えたりしてみよう。

見方・考え方 **関係**

わたしたちが納めている税金について、災害の復旧や復興に着目して調べよう。

▲ p.50

人々の取り組みやはたらき、つながりに目をつけて、ものごとを見たり、考えたりしてみよう。

2 読解しやすいように、本文を学習活動・学習内容・友だちの発言の三つの役割ごとにわかりやすく示しました。

元との戦いのあと まなさんたちは、元軍との戦いのあとについて調べてみました。

御家人たちは、命をかけて元軍と戦いました。しかし、幕府から御恩として新たな領地をもらえた者は、わずかしかなかった。そのため、御家人のなかには、幕府に不満をもつ者が出てきました。

二度の元との戦いから50年ほどのに、北条氏は足利氏らによってたおされました。

命をかけて元軍と戦ったのに、一部の御家人しか領地をもらえないと、不満が高まるのはしかたがないね。

せっかく元軍が引き上げたのに、幕府のなやみはなくならなかったんだね。

▲ p.114

● 本文(学習活動)

どのような学習活動をするのかが書かれている文章です。授業の展開や流れをつかむことができます。

● 本文(学習内容)

写真や地図、グラフなどと同じように、疑問を解決するために必要なことが書かれている文章です。

● 本文(友だちの発言)

友だちのわかったこと(!)や疑問に思ったこと(?)が書かれている文章です。教科書を読む子どもたちが、調べたり考えたりするきっかけをつかんだり、自分の考えと比較したりすることができます。

3 深め合い活動を通して、深い学びへ到達する子どものすがたを示しました。

自分の考えを深めよう りこさんたちは、日本が大切にしている国際協力について心に響いたことや、世界における日本の役割について考えたことを、タブレットにまとめ、「深め合い」をしました。

一人目の発表

わたしが心に響いたのは、南米諸国との国際協力の取り組みです。日本の企業が南米の国々に工場を建て、現地の人々を雇用し、教育や医療の支援をしています。これは、日本が世界に貢献している証拠だと思います。

二人目の発表

わたしは、国際的な環境問題の解決策について学びました。日本は、再生可能エネルギーの技術を開発し、他の国々に提供しています。これは、日本が世界に貢献している証拠だと思います。

深め合い(二人の発表を聞いて)

りこさん、南米の国々で工場を建て、現地の人々を雇用し、教育や医療の支援をしています。これは、日本が世界に貢献している証拠だと思います。わたしも、南米の国々で工場を建て、現地の人々を雇用し、教育や医療の支援をしたいです。

りこさん、再生可能エネルギーの技術を開発し、他の国々に提供しています。これは、日本が世界に貢献している証拠だと思います。わたしも、再生可能エネルギーの技術を開発し、他の国々に提供したいです。

深め合いの発表

わたしたちが心に響いたのは、南米諸国との国際協力の取り組みです。日本の企業が南米の国々に工場を建て、現地の人々を雇用し、教育や医療の支援をしています。これは、日本が世界に貢献している証拠だと思います。

深め合いの発表

わたしは、国際的な環境問題の解決策について学びました。日本は、再生可能エネルギーの技術を開発し、他の国々に提供しています。これは、日本が世界に貢献している証拠だと思います。

深め合いの発表

りこさん、南米の国々で工場を建て、現地の人々を雇用し、教育や医療の支援をしています。これは、日本が世界に貢献している証拠だと思います。わたしも、南米の国々で工場を建て、現地の人々を雇用し、教育や医療の支援をしたいです。

深め合いの発表

りこさん、再生可能エネルギーの技術を開発し、他の国々に提供しています。これは、日本が世界に貢献している証拠だと思います。わたしも、再生可能エネルギーの技術を開発し、他の国々に提供したいです。

▲ p.270~p.271

深め合い活動では、単に考えるだけ、話し合うだけではなく、意見を二つ以上出して、その根拠をお互いに話し合い、質問や意見の交換を経てそのよさを考えていきます。この活動によって、子どもは深い学び(自分の考えを拡大し、あるいは改善し、あるいは確信する)を獲得することができます。

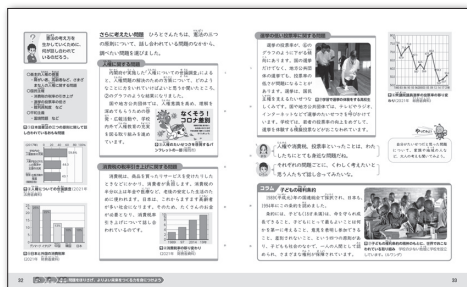
※深め合い活動は、選択・判断、もしくは多面的・多角的に考えることが求められている単元の「学習問題」の交流場面、または「さらに考えたい問題」の交流場面で設定しています。

特色③ SDGsと関連のある現代的な諸課題を自分ごととして捉え、その解決のために主体的に取り組めるように工夫された教科書

SDGsと関連のある現代的な諸課題について、地域の対応や取り組みを紹介し、子どもが課題を自分ごととして捉え、よりよい未来をつくるために考えることができるようにしました。

● 日本国憲法と現代社会の諸問題を考える

政治学習の終末に、日本国憲法と関連させて、現代的な諸課題を考える場面を設定しました。



▶ p.32～33

● 過去の歴史から現在～未来を考える

歴史学者の磯田道史先生による「歴史ノート」は、感染症と自然災害の歴史を通して、子どもたちが現在や未来を考えられる読み物資料になっています。



▶ p.162



▶ p.192

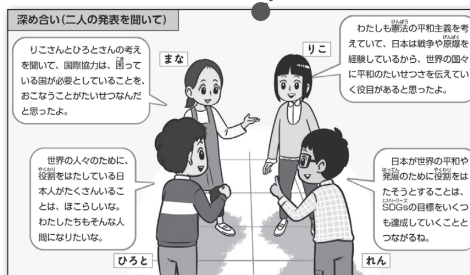
● 国際社会の一員として主体的に関わる

世界のさまざまな国や地域を知り、国際社会のなかで、自分たちは何ができるかを考えることができるようにしました。



世界の国や地域を調べ、世界にあるさまざまな課題とその解決に向けた動きを知り、自分たちには何ができるかを、互いに深め合う子どもたちの姿を設定しました。

▶ p.252



▶ p.271

特色④ 社会科におけるICTの効果的な活用を促進し、情報活用能力を確実に育成できる教科書

二次元コードを示している箇所には、ICTを活用して学習を効果的に進められるように、コンテンツを用意しました。

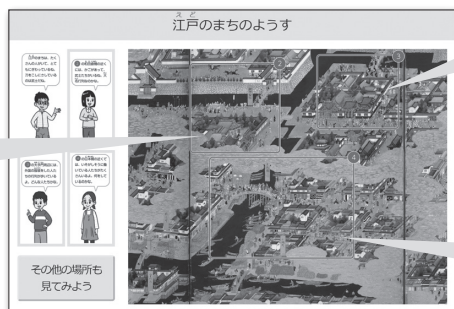
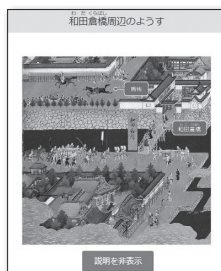
● 子どもたちの主体的・対話的で深い学びをサポートする教科書デジタルコンテンツの拡充



このマークをタブレットなどで読み取ると、写真や動画、ワークシート、関連しているウェブサイトへのリンクなどにアクセスできます。

● 屏風図や想像図をくわしく学習する

歴史の学習において、重要な資料である屏風図や想像図について、各部分をくわしく調べることができるようにしました。子どもたちそれぞれの興味・関心にこたえることができます。



絵図の気になる箇所をクリックすると、くわしい説明があらわれます。拡大・縮小もでき、細部まで確認できます。

▶ p.148 の二次元コードよりアクセスできるコンテンツ

本教科書の特徴表

基本項目	準拠性	教育基本法の遵守	・教育基本法第2条の「教育の目標」を達成するため、同条第1項から第5項に示されるような人格の育成をめざした教科書としています。 ・①広い知識・教養と豊かな人間性②人間尊重の精神と自主自律、勤労の精神③公正公平と公共心④自然愛護、環境保全⑤伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度と国際理解、親善の心
		学習指導要領の遵守	・学習指導要領の社会科の目標、学年目標・内容・内容の取扱いをふまえて、社会的事象を適切に教材化した単元構成としています。
内容・系統	公正性		・教材の選定、記述に当たっては、内容が一面的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分、吟味・検証しています。
	正確性		・検定基準等に照らして的確な内容であることを検証しています。
	発達段階への配慮		・子どもの立場からの発言や話し合い、子どものもっている力を最大限に発揮しての調べ活動や表現活動、学習内容の整理の仕方などを示唆しています。その際、人々との出会いやメディアの活用など、作業的・体験的な活動を子どもの発達段階をふまえて位置づけています。
	配列・分量		・子どもが自ら見つけ出した問題を解決するために、調べ学習などの具体的な学習活動を通して理解を深め、追究し、気づくとともに、調べたことや考えたことを表現していく過程をわかりやすいように配列しています。 ・学習対象についての情報や資料、追究過程を原則見開き2ページにまとめ、コンパクトに配分しています。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成		・本の大きさをA B判として、図版スペースを広く取るとともに、資料や本文の読み取りがしやすいようにページ構成を工夫しています。各単元の展開ページにおいては、生き生きと活動する子どもの姿や働く人々の姿を的確に捉えた写真を掲載し、子どもの共感を呼び、学習意欲を高めるように工夫しています。 ・学級を代表する6名の子どもたちが登場して、学習活動を展開しています。その登場人物の発言や活動の様子が、学習者の追究意欲を喚起するとともに、学習活動の参考となるように配慮しています。
	多様な学習の実現		・既習内容をもとに解決方法を考えたり、他者の考えを振り返り話し合ったりするなど、社会科の特質を生かした主体的・対話的で深い学びをおこなう場面を積極的に取り入れています。 ・1巻（合本）構成とすることで、6年の政治・歴史・国際に関する学習において、相互に関係させながら学習しやすくなるなどの効果的な学習ができるようにしました。
	言語活動の充実への手立て		・言語に関する能力を育成するため、国語科でつちかった言語に関する能力を基本に、観察や調査・見学などの体験的な学習や、話し合いの場面を充実させています。
その他	重点課題	現代的・社会的課題への対応	・人間尊重の精神と生命の尊重を基本に、人権・福祉に関わる内容や防災・安全に関わる内容などの現代的、社会的課題への対応を重視した教材を用意しました。
		伝統・文化の尊重と国際理解	・伝統文化の尊重と国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに、他国の文化にも興味をもたせる教材を用意しました。 ・スポーツや文化の分野での国際交流や、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に関連した内容を取り上げることで、子どもたちの興味・関心を高めるだけでなく、国際理解・親善に関心を促すようにしています。
		社会の持続可能な発展	・環境、貧困、人権、平和、開発など、社会の持続可能な発展に関わる問題についても、SDGsと関連させながら子どもの発達段階に応じて取り扱いました。
		家庭学習への配慮	・社会科の学習のねらいや学び方を保護者にもメッセージとして伝わるよう配慮し、学校、家庭、地域の連携を示唆しました。
		他教科、道徳、総合的な学習の時間等との関連	・歴史の学習において取り上げられている事例によっては、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心情を涵養することが期待できます。 ・「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」では、総合的な学習への関連づけとなるような学習内容を掲載しています。また、新しい教育課題に対応したSDGs関連教材も多く掲載しています。
		地域教材の活用・開発	・子どもにとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮しました。

その他	ICT の活用	・ 二次元コードを示している箇所には、ICTを活用して学習を効果的に進められるように、コンテンツを用意しました。二次元コードから直接アクセスすることができます。 ・ 大単元導入ページ、「学習の計画」、「見方・考え方コーナー」、「考えよう！SDGs コーナー」、小単元末ページには、ワークシートを用意し、主体的・対話的で深い学びができるようにサポートしています。
	特別支援教育への配慮	・ すべての子どもが等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点に配慮しました。 ・ 紙面の本文が「学習内容（知識）」、「学習活動（技能）」、「友だちの発言（思考力・判断力・表現力等）」の三つに分けられ、学習内容や学習方法がわかりやすく構成されています。 ・ 拡大教科書を制作します。
	判 型	・ AB判を採用し、写真やイラストを大きくして子どもの興味・関心をひきやすくしました。
	文字・印刷・製本	・ 当該学年以上の配当漢字には、すべてに振り仮名をつけました。 ・ 文字は、誰にでも見やすく読みやすい「ユニバーサルデザインフォント（UD デジタル教科書体）」を使用しました。 ・ 本文用紙は十分な強度を有する軽量化した再生紙を使用し、表紙にはコート紙を用いて美観のあふれた外観にする予定です。 ・ 植物油インキを用いて印刷しました。 ・ 製本は堅牢なあじろ綴じとし、開きやすくしました。

2. 対照表

教科書の単元	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
1 わが国の政治のはたらき	(1) ア、イ	p.8 ～ p.57	19
大単元導入	(1) ア、イ	p.8 ～ p.9	1
1. 日本国憲法と政治のしくみ	(1) ア、イ	p.10 ～ p.35	13
2. わたしたちの願いと政治のはたらき	(1) ア、イ	p.36 ～ p.45	5
選択 自然災害からの復旧や復興の取り組み	(1) ア、イ	p.46 ～ p.51	-
選択 経験をむだにしないまちづくり	(1) ア、イ	p.52 ～ p.57	-
2 日本のあゆみ	(2) ア、イ	p.62 ～ p.229	73
大単元導入	(2) ア、イ	p.62 ～ p.67	1
1. 大昔のくらしとくにの統一	(2) ア、イ	p.68 ～ p.83	8
2. 天皇を中心とした政治	(2) ア、イ	p.84 ～ p.97	6
3. 貴族が生み出した新しい文化	(2) ア、イ	p.98 ～ p.103	3
4. 武士による政治のはじまり	(2) ア、イ	p.106 ～ p.115	5
5. 今に伝わる室町の文化と人々のくらし	(2) ア、イ	p.116 ～ p.123	4
6. 戦国の世の統一	(2) ア、イ	p.126 ～ p.137	6
7. 武士による政治の安定	(2) ア、イ	p.138 ～ p.147	5
8. 江戸の社会と文化・学問	(2) ア、イ	p.148 ～ p.161	6
9. 明治の新しい国づくり	(2) ア、イ	p.166 ～ p.177	6
10. 国力の充実をめざす日本と国際社会	(2) ア、イ	p.178 ～ p.191	7
11. アジア・太平洋に広がる戦争	(2) ア、イ	p.196 ～ p.213	8
12. 新しい日本へのあゆみ	(2) ア、イ	p.214 ～ p.227	7
日本の歴史の学習を終えて	(2) ア、イ	p.228 ～ p.229	1
3 世界のなかの日本とわたしたち	(3) ア、イ	p.232 ～ p.271	13
大単元導入	(3) ア、イ	p.232 ～ p.233	1
1. 日本とつながりの深い国々	(3) ア、イ	p.234 ～ p.257	6
2. 世界がかかえる問題と日本の役割	(3) ア、イ	p.260 ～ p.271	6
計			105